

# 調査概要

## 1. 各編の調査概要

### I. 乳幼児編

◎調査時期 2007年11月

◎調査対象 西宮市内に在住かつ幼稚園あるいは保育園(所)に就園している乳幼児の保護者約6,700人と、その保育者約800人

◎回収数概略

幼稚園・保育所名	保護者					保育者					協力園数
	配布数	回収数	無効数	有効回答数	有効回答率	配布数	回収数	無効数	有効回答数	有効回答率	
私立幼稚園	1,974	1,391	3	1,388	70.3%	145	117	0	117	80.7%	保護者11園、保育者12園
公立幼稚園	1,769	1,221	8	1,213	68.6%	113	64	0	64	56.6%	保護者19園、保育者16園
公立保育所	2,467	1,256	18	1,238	50.2%	368	298	1	297	80.7%	保護者23園、保育者23園
私立保育園	466	332	3	329	70.6%	139	113	1	112	80.6%	保護者8園、保育者9園
全体合計	6,676	4,200	32	4,168	62.4%	765	592	2	590	77.1%	保護者61園、保育者60園

#### (1) 調査票の配布・回収について

2007年11月、西宮市内全域の公私立保育所・幼稚園を対象に、質問紙調査を実施した。公立保育所・幼稚園については、子育て総合センターより、公立保育所23ヶ所・幼稚園21ヶ所に協力を依頼した。うち公立幼稚園2ヶ所をのぞく42園で調査を実施した。私立幼稚園・保育園では、私立幼稚園園長会及び私立保育園連盟に協力を依頼し、ファックスならびに電話にて承諾のあった私立保育園9ヶ所・幼稚園12ヶ所の計21園で調査を実施した。配布数は、子育て総合センターから提供された各園のデータ、ならびにインターネット上に掲載されている各園の定員・保育士数(私立)に基づいて調査票を発送した。保護者対象調査票は保育所などを通じて保護者に配布し、回答は、保護者による厳封の上、保育所などを通じて回収した。保育者対象調査票も同様の方法を取り、人権保護および個人情報保護に配慮した。

保護者調査では、全体の配布数6,676通、回収数4,200、そのうち白紙回答などの無効回答32を除く有効回答数は4,168、有効回答率は62.4%であった。保育者調査では、配布数765、無効回答2を除く有効回答数は590、有効回答率は77.1%であった。

#### (2) データ入力・処理・欠損値について

「白票」「半分以上の項目で白票」「1枚の調査票に2人(以上)の子どものことを記入していると思われるもの(保護者のみ)」「調査票が切り取られているもの」は無効扱いとし、それ以外の票についてExcelファイルにデータ入力した。

保護者対象調査では、問14などの時刻を回答する質問では、「分」の処理を「記入・分÷60(分)+時」として入力した。問2の子どもの年齢を「7歳0ヶ月」以上の数値を回答したものは、調査該当対象から外れるが、そのきょうだいが通所・通園していると考えられるため、年齢についてのみ欠損値とした。問37でテレビの視聴時間「30(時間)」の回答は欠損値とした。同様に、問14-1で起床時間が「0時」あるいは「19時以降」のもの、問14-2就寝時間が「13時」～「14時」のもの、問14-3と問14-5で睡眠時間が極端に長いものあるいは少ないものは、回答項目を欠損値とした。回答者属性において、問3で続柄「おばあさん」と答えていてかつ問4で年齢「10代」あるいは「20代」と回答したものは、問4を欠損値とした。

## Ⅱ. 小学生編

◎調査時期 2008年11月

◎調査対象 西宮市内に在住かつ公立小学校に在籍している小学生約 8,400 人、その保護者約 6,600 人および教員約 400 人

◎回収数概略

児 童					保 護 者				
配布数	回収数	無効数	有効 回答数	有効 回答率	配布数	回収数	無効数	有効 回答数	有効 回答率
8,413	7,830	55	7,775	92.4%	6,671	5,231	79	5,152	77.2%
教 師									
配布数	回収数	無効数	有効 回答数	有効 回答率					
418	287	0	287	68.7%					

### (1) 調査票の配布・回収について

「小学生の生活実態に関する調査」として、西宮市教育委員会との共同で調査協力が得られた西宮市内の公立小学校 12 校において、児童対象、保護者対象および教師対象の 3 種類の質問紙調査を行った。調査時期は 2008 年 11 月であった。児童対象質問紙と保護者対象質問紙は学校を通じて保護者に配布し、回答は、保護者による厳封の上、担任教師を通じて回収した。なお、児童対象調査は一部教室内での配布・回収を行った学級もある。教師対象質問紙も同様の方法を取り、人権保護および個人情報保護に配慮した。

### (2) データ入力・処理・欠損値について

前年に準じた。

・自尊感情については、ローゼンバーグの尺度を使用し、「あなたは、自分のことをどのように感じていますか」という項目で 4 段階評価「とても思う（4 点に換算）・思う（3 点）・思わない（2 点）・全然思わない（1 点）」を行ってもらった。逆転項目については点数を逆転し、合計得点（自尊感情得点；10～40 点）を算出した。10 項目中一つでも欠損がある場合は無効とした。なお、逆転項目は以下の 5 項目であった。

- ・「自分をだめな人間だと思うか」
- ・「自分には自慢できるところがあまりないと思うか」
- ・「自分は役に立たない人間だと思うか」
- ・「自分をもっと大事にできるようになりたいと思うか」
- ・「いつも失敗するのではないかと不安に思うことがあるか」

### Ⅲ. 中学生編

◎調査時期 2009年11月

◎調査対象 西宮市内に在住かつ公立中学校に在籍している中学生約 10,000 人、その保護者約 9,700 人および教員約 600 人

◎回収数概略

生徒					保護者				
配布数	回収数	無効数	有効回答数	有効回答率	配布数	回収数	無効数	有効回答数	有効回答率
10,385	8,090	31	8,059	77.6%	9,765	6,119	34	6,085	62.3%
教師									
配布数	回収数	無効数	有効回答数	有効回答率					
632	374	1	373	59.0%					

#### (1) 調査票の配布・回収について

「中学生の生活実態に関する調査」として、西宮市教育委員会との共同で調査協力が得られた西宮市内の公立中学校 20 校に調査票を配布し、生徒対象、保護者対象および教師対象の 3 種類の質問紙調査を行った。調査時期は 2008 年 11 月であった。生徒対象質問紙と保護者対象質問紙は学校を通じて保護者に配布し、回答は、保護者による厳封の上、担任教師を通じて回収し、3 校を除く 17 校から回答を得た。なお、生徒対象調査は一部教室内での配布・回収を行った学級もある。教師対象質問紙も同様の方法を取り、人権保護および個人情報保護に配慮した。

#### (2) データ入力・処理・欠損値について

前年に準じた。

## 2. 報告書の見方

百分比(%)は有効回収数のうち、その設問に該当する回答者を母数として算出し、小数第二位を四捨五入して表示した。

各編で図表を掲載した。複数回答箇所は 100%を超えたまま掲載した。クロス集計箇所でも母数に「無回答」を含まない項目の場合は、グラフ右上に「無回答を含まない」と示した。

また、タイトルや図表番号は調査票の問番号にあわせたため、連番になっていないことがある。